

# あなたも〈親子孫でたのしい仮説実験講座〉を始めませんか？……きっと、ヤミツキになります！

この会を開催する趣旨は以下をご覧ください。

## ●サイエンス・シアターの伝統を復活させたい！

20年前、板倉聖宣さんにより、サイエンス・シアターが提案・開催されました。サイエンス・シアターとは「多くの人びとが演劇や音楽やスポーツを楽しむように、大人も子どもも一緒に、科学を豪華に楽しむための集まり」です。

しかし、この試みは6年間（1994～99）で終了しています。「大人も子どもも一緒に科学を楽しむ集まり」をなくしたままでは、あまりに残念です。その伝統を復活できないでしょうか。

## ●サイエンス・シアターを大衆化した 〈親子孫で たのしい仮説実験講座〉

サイエンス・シアターでは、毎回、板倉さんを中心に新しいテーマが研究開発されてきました。それを模倣することは到底できません。同じ内容をそのまま再演するにも準備がすごくないへんです。無理なことは模倣しないに限ります。

しかし、仮説実験授業の授業書を丸ごとやれば、子どもたちが「遊ぶのよりずっとたのしい」授業ができ、大人だって「そういう授業を受けたい」と思うという、十分すぎる成果がこれまでにあります。さらにサイエンス・シアターの特徴は、自分で確かめたり、家で誰かと実験ができる「豪華実験セット」にありました。これも「全国各地分を大量購入する」ことで解決できます。

それが、サイエンス・シアターをより大衆化した〈親子孫で たのしい仮説実験講座〉のはじまり（2006）です。今年の夏は全国24か所の会場で開催しています。5歳児から80歳のシニアまで、「たのしい」と満足していただだけ、毎年、万難を排して参加してくださるリピーター家族も少なくありません。

## ●〈親子孫で たのしい仮説実験講座〉 ワークショップを開催します

〈親子孫で たのしい仮説実験講座〉を全国各地ではじめて9年目です。サイエンス・シアターより長く続いていますので、少しは〈持続可能なしくみ〉ができてきているでしょう。しかし、参加費や運営の仕方など、解決しなければならない問題もあります。

それらを解決し、〈親子孫で たのしい仮説実験講座〉をやりたい人が各都道府県で主催できるしくみを確立していきたいのです。そのために、参加者の

みなさんに実際に体験していただくワークショップを今年も開催します。参加者の中から、一緒に開催する方が全国が増えていくとうれしいです。

## ●純粋にたのしみたい方も大歓迎！

純粋に親子孫、あるいは大人だけで仮説実験授業をたのしみたいという方も大歓迎です。子どもだけ体験講座はあっても、5歳から80歳まで一緒に仮説実験授業をたのしめる機会は、今までありませんでした。

「子どもと対等に話ができたのがよかった」（母）

「子どもと共通の時間を持てたのは初めて」（父）

「夫と同じ話題で話をしたのは久しぶり」（妻）

「孫がたのんでいる顔を見るのは幸せ」（祖母）

「日常を忘れてリフレッシュできた」（父）

「日頃使わない脳ミソを使った」（母）

などの感想が大人からたくさん出ます。どうやら、本格的な科学入門教育である仮説実験授業には、家族のコミュニケーションを豊かにしたり、リフレッシュさせる癒しの効果もあるようです。

もちろん、私たちがこんな講座をやっているのは、〈予想をたて実験する〉というものの見方・考え方を身につけて、社会で新しいことにチャレンジしていく人間が増えていく社会になつたらたのしいと思っているからです。

## ●1700年代のたのしい科学と科学教育の 伝統にたちかえる！

私たちは、「大道仮説実験ワークショップ」を10年間（2002～11）、開催してきました。大道仮説実験講座は90分ほどの時間ですので、本格的な科学入門教育は無理です。しかし、〈予想をたて実験する〉たのしさは味わうことはできます。今回のワークショップでも、「大道仮説実験講座」を体験できる時間も用意しました。

市民向けのたのしい科学講座の伝統は1700年代の欧米に源流があります。それはボイルやフックからはじまり、デザギュリエ、フランクリンなどに引き継がれていきました。その歴史の中で、知るに値する科学史を掘り起こしていく基礎研究こそが、〈親子孫で たのしい仮説実験講座〉や〈大道仮説実験講座〉のバックボーンです。そんな研究を紹介する「たのしい科学史ミュージアム」もあります。さらには、そういうたのしい科学の伝統を維持・発展できる社会やお金の流れについても考えていきたいと思っています。